

栄養科 活動報告

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
昨年も多くの方に支えられ、心より感謝申し上げます。理事長のご挨拶にも
ありましたように、当院は患者さんや職員、学生が集い、ともに学び支え合う場です。
その中で、栄養科で働く私たち一人ひとりが、共に働く仲間を大切にしながら
日々の業務に向き合うことが、より良い医療につながると感じています。
今年は立ち止まって振り返ることも忘れず、声を掛け合い、
協力し合いながら前に進んでいきたいと思えます。
皆さんと一緒に、温かく実りある一年をつくっていただけたら幸いです。
本年もどうぞよろしくお願ひいたします

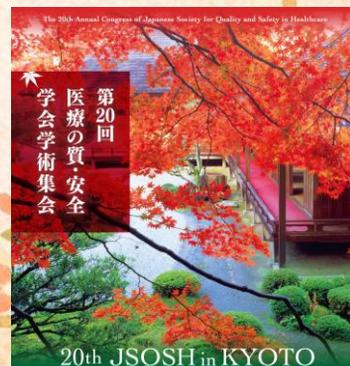
栄養科科长 遠藤美織



20th

第20回医療の質・安全学会学術集会

2025年11月8日、京都で開催された第20回医療の質・安全学会学術集会にて、ニプロ株式会社協賛の教育セミナーで講演を行いました。重症患者の栄養管理における早期経腸栄養の重要性を踏まえ、「腸が使えるなら腸を使う」という考え方のもと、経鼻胃管（NGT）を用いた栄養管理について管理栄養士の立場からお話しました。365日体制での栄養管理や初期の安全体制確保の重要性を共有し、チーム医療で医療安全を支える意義を再確認する機会となりました。



北海道自治体病院栄養士部会研修会

2025年12月13日、北海道自治体病院栄養士部会にて「栄養部門が創る人財育成と経営改善（臨床×給食×教育の挑戦）」をテーマに特別講演を行いました。管理栄養士の専門性向上が進む一方、人材育成や働き続けられる職場づくりが課題となる中、一人ひとりの力を引き出し、仕組みで支えることの重要性について当院の実践を交えて紹介しました。当日は活発な意見交換が行われ、今後の連携や情報共有につながる有意義な機会となりました。